

高度看護実践者向け最新がん看護研修

高齢者がん患者の個別化医療における 高度実践看護の役割

2026年1月中旬～2月17日(火) 40分×4コマ オンデマンド形式

2026年2月18日(水) 18:00-19:30 オンライン形式

到達目標

- 老年医学の観点から高齢者の加齢変化、併存疾患、脆弱性(frailty)を考慮したがん治療への影響を説明できる
- 高齢者がん診療ガイドラインを理解し、高齢者がん患者の治療選択におけるリスク・ベネフィットを多面的に分析することができる
- 高齢者がん診療ガイドラインを理解し、アセスメント、栄養管理、フレイル予防等を説明できる
- 高齢がん患者の個別化医療に必要なアセスメント、治療や療養に関する意思決定や治療継続の方略を見出すことができる

講義

オンデマンド形式：2026年1月中旬～2月17日（火） 各40分

■がん医療に必要な老年医学の知識

柳川まどか先生（名古屋大学 老年内科 化学療法部（緩和ケアチーム），老年病専門医）

■高齢者がん診療ガイドラインに基づくがん医療

坂井大介先生（大阪国際がんセンター腫瘍内科 副部長）

■高齢がん患者の個別化医療の実現

西嶋智洋先生（九州がんセンター 老年腫瘍科）

■がんサルコペニアにおける栄養と運動の役割

若林秀隆先生（東京女子医科大学病院 リハビリテーション科）

オンライン形式：2026年2月18日（水）18:00-19:30

■ 高齢者のがん治療におけるチーム医療と看護の実際

北川善子先生（九州がんセンター，がん看護専門看護師）

参加申込

- 申込：会員向けML記載のフォームよりご申請ください
- 対象：日本がん看護学会員である専門看護師・認定看護師であり、定員は約80名です
- 参加費：2500円
- 受講証：全ての講義受講者に対して発行いたします

